



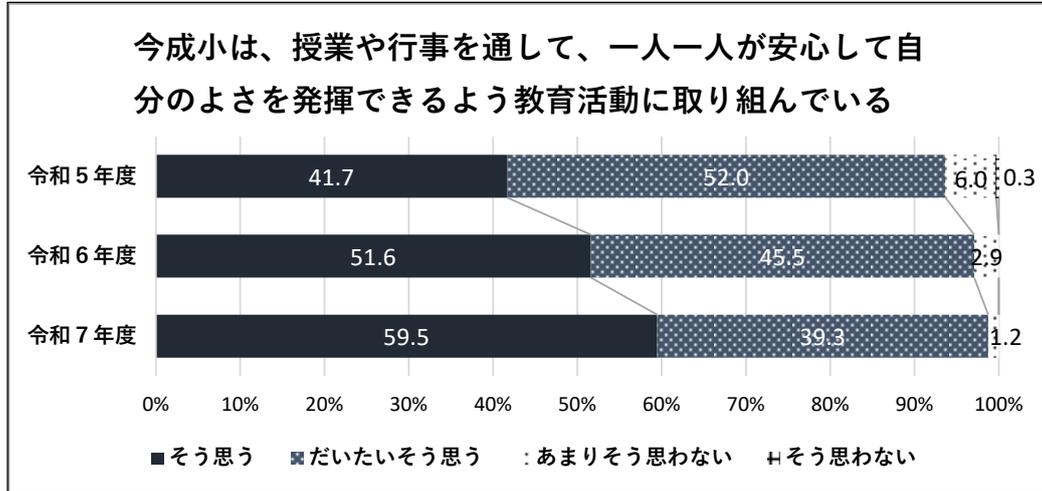
一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校

# 今成小だより



令和8年3月2日発行

## さらにもう一步、自分のよさを発揮できる学校になるように



桜の開花予想も聞かれるようになり、少しずつ春の訪れを予感する頃となりました。さて、本校では教育活動の中で、教職員が子どもたちのよいところを積極的に認め、ほめて伸ばすこと、また、その姿を可能な限り保護者の皆様にもお伝えし、ご家庭でも話題にさせていただくことを大切にしていまいりました。こうした取組を重ねることが、子どもたちが自分のよさを発揮できることに必ずや結び付くと考えております。

先日、保護者の皆様にご回答いただいた「教育に関するアンケート」では、この項目について「そう思う」の回答が昨年度よりさらに増加していました。全教職員が力を注いできた取組であり、大変ありがたく、誇らしい評価として受け止めております。また、子どもたちの学校での活躍は、心身ともに健やかな状態で送り出してくださる各ご家庭の協力あってのものとして改めて深く感謝しております。

しかしながら、教育とは「今ある姿」から「あるべき姿」へと導いていく営みでもあります。今年度の取組を振り返り、改善すべき点を見いだすとともに、保護者の皆様との連携をより一層深めていくことで、さらにもう一步前進し、子どもたち一人一人が自分のよさを存分に発揮できる今成小学校となるように努めてまいります。

きたる3月24日には、立派に成長した56名の6年生の皆さんが今成小学校を巣立っていかれます。どんなに遠くに行っても人の心の中にはふるさとが生きています。皆さんが、これからもふるさと川越、今成小学校を大切に思い、さらに広く世界にも目を向け、一人一人が自分の夢や希望に向かって進まれることを念願しています。

結びに、地域や保護者の皆様には今年度もあたたかいご支援を賜りました。特に、子どもたちの安全な登下校を見守ってくださっているスクールガードリーダーの中島様、久光様、池田様、各地区の協力者の皆様方には改めて深く感謝申し上げます。

ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす